



アナンシと知恵

✎ Ghanaian folktale

🔗 Wiehan de Jager

💬 Kohei Tsuji

📊 3

💬 日本語 ja



昔々、人々は何も知らなかった。彼らは農作物のに植え方も、服の縫い方も鉄の道具も作る方法も知らなかった。空に住んでた神ニヤメが世界のすべての知恵を持っていた。彼はそれを安全に粘土の壺にしまっていた。



ある日、ニヤメは壺の知恵をアナンシにあげることにした。毎回アナンシは壺を覗き込み、何か新しいものを学んだ。彼はそれを楽しんだ。



強欲なアナンシは思った、高い木の上に壺を置いておけば安全だ。そして独り占めすることができる！彼は壺を長い紐でお腹に巻いた。木を登り始めた。しかしずっと膝の間で壺が跳ねて木を登ることは難しかった。



ずっとアナンシの若い息子は木の下で木を見ながら立っていた。そして彼はお腹の代わりに背中に壺を結んだ方が簡単ではないか？と言った。アナンシは背中に結び登った。それはとても簡単なことだった。



すぐに木の頂上に着いた。しかしそこで彼は止まり考えた、僕はすべての知恵を持っていると思っていたが、自分の息子の方が賢いじゃないか！ アナンシはこのことについて怒って、壺を木からほうり投げた。




壺は壊れて地面にバラバラに割れた。その知恵はみんなに自由に共有された。そうやって人々は農業や服の作り方や、鉄製の道具の作り方、そして他の知恵も学ぶことができた。





Global Storybooks

globalstorybooks.net

アナンシと知恵

 Ghanaian folktale

 Wiehan de Jager

 Kohei Tsuji

